

# はこジ郎の ぶらぶら ジオ日記

みんなは昨年平成の大改修を終えた小田原城天守閣にはもう行ったかな？外壁も全面塗装され、天守閣の真っ白な壁がきれいだったぞ。リニューアルした展示室には、甲冑姿になれる体験展示やミニシアター、クイズコーナーなどもあり、オイラたち子どもも楽しめる展示になっていたよ。楽しみながら小田原城のことを学べるようになっていて、驚いたのは「全国天守高さ比ベTOP10」の展示だったよ。全国にあるお城の天守閣の背比べで、小田原城はなんと7番目に高いんだって！小田原城って全国的にも大きいお城なんだね。ちなみに1位は大阪城、2位は名古屋城だよ。それと、ビックリしたのは天守閣が復興される前の昭和30年代には天守台の上になんと観覧車があったんだって！

小田原城とその城下町は、戦国大名の小田原北条氏五代の拠点として繁栄したよ。当時の城は石垣を用いず、箱根火山や富士山の火山灰などが堆積した関東ローム層を掘りぬいた空堀と土塁で守られていたんだって。西には箱根火山、東には酒匂川、南には相模湾があることから自然の要塞となっており、地形的には箱根火山の外輪山から続く尾根の先端部分にお城が作られていて、地形や地質を巧みに利用していたんだね。

上杉謙信や武田信玄が攻めてきても籠城戦で退けたほど強固な城だったんだ。天下統一を目指す豊臣秀吉が天正18（1590）年に攻めてきた頃には、さらに城下町全体を空堀や土塁で囲む周囲9kmの総構とよばれる城郭を築き、当時は日本最大級の城で難攻不落と言われていたんだって。

この小田原北条氏の時代に城下での飲み水のために作られたのが小田原用水で、早川の水を箱根板橋の取水口から小田原城下まで低地の自然の勾配を巧みに利用して引いていた日本初の上水道設備なんだよ。

北条氏が小田原攻めで滅亡し、江戸時代を迎えると、小田原城は箱根火山の安山岩で築かれた石垣を備える近世の城郭として生まれ変わったんだって。現在のお城は、江戸時代の城を復元したものだよ。当時の姿を取り戻すように史跡整備が行われており、平成21年に復元された馬出門では、先月号で紹介した早川石丁場群で出土した石や真鶴の本小松石を使って石垣が組まれているんだって。石垣にも注目して、今度小田原城に行ってみてね！



本丸の正門にあたり、堅牢に建てられた「常盤木門」

今年も年が明けてあっという間にもう3月になりました。暖かな春の陽気が待ち遠しく感じられる今日この頃、はこジ郎は昨年リニューアルした小田原城天守閣を訪れ、ジオサイト「小田原城と小田原用水」について学んできたようです。

照会先 企画課 ☎85-9560

**日時** 3月19日(日)13時30分～15時00分(受付13時15分～)

**講師** 株式会社はまいち 濱田一美氏

**集合場所** 小田原市川東タウンセンターマロニエ「食の創作室」(小田原市中里273-6)

**締切** 3月16日(木)(定員20名)

**申込** 事前予約制 住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、箱根ジオパーク推進協議会事務



地箱根火山の噴火によって噴出した溶岩(本小松石)のパウダーと塩(岩粉・がんこ)を使ってじっくり熟成させる手作りの干物作りを体験してみませんか？箱根ジオパーク真鶴エリアの見どころの紹介や本小松石の観察もします。最後には、ジオ干しをみんなで味わいましょう。お子様連れも大歓迎です。

箱根ジオパークサポーター講座第7回「箱根ジオ干し」(ひもの作りを体験しよう！)

**日時** 3月26日(日)・4月8日(土)8時30分～17時15分

**※** マイナカードの交付は9時～16時

**場所** 役場本庁舎2階総務防災課市民係

**取扱事務**

- ◎ 転入・転出などの住民異動届、証明書等の発行
- ◎ マイナカードの交付
- ◎ 印鑑登録、証明書の発行
- ◎ 戸籍証明書の発行

**照会先** 総務防災課(町民係) ☎85-7160

3/26・4/8臨時窓口開庁  
住民異動などの手続きができます！

## ME-BYOフェスタ2017春

**日時** 3月18日(土) 10時～16時

**場所** (株)ブルックスホールディングス大井事務所

**内容** 野球、ゴルフ、ラグビーの体験ほか

**問合せ** (一社)小田原プロモーションフォーラム ☎0465-20-9166

局に電話、メールで申し込んでください。 ☎85-9560  
kikakuka@town.hakone.kana.gawa.jp

## 箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

アンケート結果編

箱根町園・小・中学校一貫教育は、平成27・28年度の2年間の試行を行い、平成27年度から4つの柱「箱育」・「知育」・「徳育」・「体育」に沿って教育活動を進めてきた中で、「箱育」では、地域学習として観光に特化した学習を行い、観光地箱根を学びました。「知育」では、学習内容の定着化や読書活動の推進を図り、「徳育」では、子どもたちの心の教育として「箱根ハートフルプログラム」を幼児期から展開してきました。「体育」では、各園・小・中学校が共に縄跳びを体力向上のアイテムとして活用してきました。その他にも、授業や行事、そして園児・児童・生徒が園・学校の垣根を越えて多くの交流を行ってきました。

今後の一貫教育を更に充実させるため、今年1月に児童・生徒を対象に「園・小・中一貫教育アンケート」を実施しました。

★ 1：そう思う、2：少しそう思う、3：あまり思わない、4：思わない、5：無回答の5項目の選択肢の内、「1：そう思う」と回答した割合

No.	項目	平成27年度	平成28年度	増減
1	今年、他の小学生や中学生と一緒に活動する中で協力できた。	21.8%	27.0%	5.2%
2	小学校と中学校と一緒に活動したことで心配や不安が無くなった。	15.9%	26.6%	10.7%
3	小学校と中学校が一緒になって行事などをすることは大切だと思う。	38.0%	38.8%	0.8%
4	中学校へ進学することに不安が無くなった。(小学生)	21.4%	28.3%	6.9%
5	新入生と仲良く学校生活ができる良いきっかけとなった。(中学生)	16.4%	29.5%	13.1%
6	小学校や中学校の先生が授業をしたり、見たりしてくれる回数を増やして欲しい。	16.6%	16.0%	▲0.6%



児童・生徒のアンケート結果から、一貫教育の効果が徐々に現われてきていることがわかります。今後とも児童・生徒をはじめ、保護者や地域の意見を聞きながら、町では園・小・中学校一貫教育を推進していきます。

温泉幼稚園が、平成29年3月31日をもって、閉園となりますので、平成29年度からは4園・3小・1中の体制で園・小・中学校一貫教育を推進していきます。

## 消防の仕事

No.12

第12回は「緊急消防援助隊」です。

この制度は、1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災では被災地の消防機関だけでは対処できなかった教訓を踏まえ、同年6月に創設されました。

2011年(平成23年)に発生した「東日本大震災」では、延べ約10万人の消防職員が被災地で活動し、町でも救急隊及び後方支援隊を計4回、延べ20人を宮城県仙台市及び福島県福島市へ派遣し活動しました。

緊急消防援助隊は、指揮支援部隊・都道府県隊指揮隊・消防部隊・救助部隊・救急部隊・後方支援隊・特殊災害部隊・特殊装備部隊・航空部隊・水上部隊と多岐にわたる部隊から構成されています。

この中の「後方支援隊」とは、実際に被災地で活動する消防隊や救急隊が被災地において72時間以上活動できるように、食料をはじめ、仮眠するためのテント、ベッド、寝袋や燃料などを資機材搬送車(トラック)に積載して被災地へ出動し、活動部隊を支援するための縁の下の力持ち的な部隊です。



緊急消防援助隊の訓練は、全国を複数の都道府県を単位とした「北海道東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国・四国」、「九州」の6ブロックに区分して年1回合同訓練を実施して、技術及び連携活動能力の向上を図っています。

平成28年度の関東ブロック訓練は、昨年10月17日・18日に栃木県において行われました。

また、2月10日には横浜消防局消防訓練センターで神奈川県隊の訓練が実施され、町からは救急隊が訓練に参加しました。